

帝國キネマ映畫

脚色者 佃 血 秋氏  
監督者 森 中 虎 男氏

主要役割

國定忠次 片岡 童十郎氏  
日光圓藏 市川 紅三郎氏  
板羽の淺太郎 市川 紅三郎氏  
清水の巖鐵 大谷 鬼童氏  
若者才助 市川 玉太郎氏  
妹 お梅 福岡 君子嬢  
代官松井軍兵衛 東 長之助氏  
仲間定助 嵐 繁代氏

〔略筋 省略〕

澤正一派が亂闘の少い「國定忠次」を作つたに反し、これは亂闘本位の連続映畫の形式を持つて居る。佃血秋氏の創作さや、監督の拙劣の故か更に氏が創作と銘打つ丈の價値を見出し得ない。亂闘中の滑稽味も不真面目でいけない。吾妻氏の監督は氏としては寧ろ無難と見受けるが決して好意は持てない。新加入の童十郎の忠次は久し振りで映畫に出演したせいかな覇氣に乏しく、福谷氏の日光圓藏と共に結構さは云へない。因に俳優其他の都合で第二篇以下の製作は中止された。——山本 綠葉——  
興行價値——「國定忠次」や「清水次郎長」は俠客もの、代表的なものであるから總じて無條件で興行價値を具備して居る。  
(二月三日、第一篇、二月十一日第二篇、大阪 芦邊劇場封切)